

科目名：成人臨床看護Ⅰ		必	1 単位 (45 時間)
(Adult Clinical Nursing Ⅰ) 履修年次/時期：2 年次 後期 授業形態： 講義・演習 主担当教員：吉越洋枝（実務経験 看護師 11 年：病院看護師として、クリティカルケア看護、周術期看護などの実務経験がある。その経験を活かし、学生の気づく力と臨床判断する思考過程が育成できるよう授業を行う） 担当教員：渡邊好江、藤倉由美恵、五百部恵子			
学修目的	健康状態の急激な変化により生命の危機状態にある人とその家族に対する看護を学ぶ。生命危機状態にある人とその家族の特徴を理解し、対象の生命・生活を支えるクリティカルケア看護について、事例を用いて理解を深める。 CP1、2、3、4、5に関連する。 科目 No. KNz-208		
この科目 が目的と している DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	1. クリティカルケアを必要とする患者とその家族の特徴について説明できる。 2. クリティカルケアにおけるチーム医療の特徴と看護の役割について説明できる。 3. クリティカルケアにおける倫理的課題について説明できる。 4. クリティカルケアが必要な患者の病態と必要な看護技術・援助方法について説明できる。		
授業概要	健康状態の急激な変化により健康障害をきたした成人期の対象とその看護について学ぶ。特にクリティカルケアや周術期（周術期総論、循環器、呼吸器、脳神経系）に焦点化し臨床判断能力の礎を育む。		
評価方法	定期試験 50% 課題（授業ノート） 50% 評価に対するフィードバックは課題返却時に行う。		
予習・ 復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間		
教科書	① 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学（医学書院） ② 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔3〕循環器（医学書院） ③ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔7〕脳神経（医学書院）		
参考書	必要時、授業内で紹介する		
オフィス- 連絡先	特定の日時を設定したオフィスアワーは設けません。実習で不在のことも多いので、必ずアポイントメントをとってください。直接研究室に来訪するかメールで連絡をお願いします。 吉越洋枝（3 号館 3 階研究室）yoshikoshi@kdu.ac.jp 渡邊好江（3 号館 3 階研究室）y.watanabe@kdu.ac.jp		

	藤倉由美恵（3 号館 3 階研究室）fujikura@kdu.ac.jp	五百部恵子（3 号館 3 階共同研究室）iobe@kdu.ac.jp
--	--------------------------------------	------------------------------------

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	クリティカルケア看護とは ① クリティカルケアとはなにかを説明できる。 ② クリティカルケア看護の場の特徴を説明できる。 ③ クリティカルケアを必要とする患者と家族の特徴を説明できる。	[予習] 教科書①の第1章を通読する。 [復習] 授業ノートの整理 [キーワード] クリティカルケア、ケアとキューア、集中治療室、重症度、緊急度、CNS-FACE II	講義 ○吉越
2 (/)	クリティカルケア看護とチーム医療 ① クリティカルケアにおけるチーム医療の特徴と看護師の役割について説明できる。 ② クリティカルケア看護における倫理的課題について説明できる。	[予習]教科書①の第2章を通読する。 [復習]授業内容の振り返りとノートの整理 [キーワード] 集中治療室、医療安全、患者の権利と擁護、脳死、臓器移植	講義 ○藤倉
3 (/) 4 (/)	クリティカルケア看護 (1) 急性心筋梗塞事例 ① 心筋梗塞の病態と検査・内科的治療が説明できる。 ② 事例の状態をアセスメントし、今、必要な観察と援助を考えることができる。	[予習] 心臓の解剖生理、病態と治療論Ⅲで学習した虚血性心疾患の内容。 教科書②の第2章、第3章A、第4章B・C①②、第5章A・Bを通読する。 [復習]授業ノートの整理 [キーワード] 心電図、心臓マーカー、抗血小板薬、血栓溶解療法、経皮的冠動脈インターベンション(PCI)、不整脈、冠動脈攣縮、心不全	講義 ○吉越
5 (/) 6 (/)	クリティカルケア看護 (1) 演習 ① 患者の状態に応じた観察と援助が実施できる。	[予習] 提示した課題に取り組む。 [復習] 演習後の課題に取り組む。 [キーワード] 臨床判断、看護実践力、思考発話	演習 ○吉越 渡邊 藤倉 五百部
7 (/)	クリティカルケア看護 (1) 急性心筋梗塞事例 ① 再発防止に向けた支援について説明できる。	[予習] 教科書②の第6章E①②を通読する。 [復習] 授業ノートの整理 [キーワード] 冠危険因子、生活習慣の改善、服薬のアドヒアランス	講義 ○吉越
8 (/)	クリティカルケア看護 (2) 救急看護 ① 救急看護の考え方と看護師の役割が説明できる。 ② 急変時における初期対応とトリアージについて説明できる。 ③ 心肺蘇生法と一次救命処置の方法が説明できる。	[予習] 病態と治療論Ⅱで学習した救急処置法。教科書①の第4章Bを通読する。 [復習] 授業ノートの整理。 [キーワード] 救急看護、トリアージ、一次救命処置(BLS)、救急カート	講義 ○外部講師
9 (/)	クリティカルケア看護 (2) 演習 ① 医療用BLSアルゴリズムに即した一次救命処置が実施できる。	[予習] 8回目の授業内容 [復習] 授業ノートの整理 [キーワード] 胸骨圧迫、AED	演習 ○外部講師

			吉越 渡邊 藤倉 五百部
10 (/) 11 (/)	クリティカルケア看護 (3) くも膜下出血事例 ① くも膜下出血の病態と治療が説明できる。 ② 事例の状態をアセスメントし、今、必要な観察と援助を 考えることができる。	[予習] 病態と治療論Ⅳで学習した脳 血管障害について。教科書①の第3章 D、教科書③の第5章 A-①-①、第6 章 D-①を通読する。 [復習] 授業ノートの整理 [キーワード] 脳動脈瘤、頭蓋内圧亢進 症状、意識障害の評価 (JCS、GCS)、 神経学的所見、脳血管攣縮、脳血管内 治療、開頭手術、脳浮腫、正常圧水頭 症、社会復帰に向けた支援	講義 ○渡邊
12 (/) 13 (/)	クリティカルケア看護 (3) 演習 ① 患者の状態に応じた観察と援助が実施できる。	[予習] 提示した課題に取り組む。 [復習] 演習後の課題に取り組む。 [キーワード] 臨床判断、看護実践力、 思考発話	演習 ○渡邊 吉越 藤倉 五百部
14 (/)	クリティカルケア看護 (3) くも膜下出血事例 ① 社会復帰に向けた支援について説明できる。	[予習] [復習] 授業ノートの整理 [キーワード] 正常圧水頭症、社会復帰 に向けた支援	講義 ○渡邊
15 (/)	クリティカルケア看護 (4) 感染症予防 ① クリティカルな状態にある患者に対する感染症予防策 について説明できる。	[予習]教科書①の第4章 H を通読す る。 [復習] 授業ノートの整理 [キーワード]CAUTI 予防策、CRBSI 予防策、VAP 予防策、スキンケア、口 腔ケア	講義 ○吉越